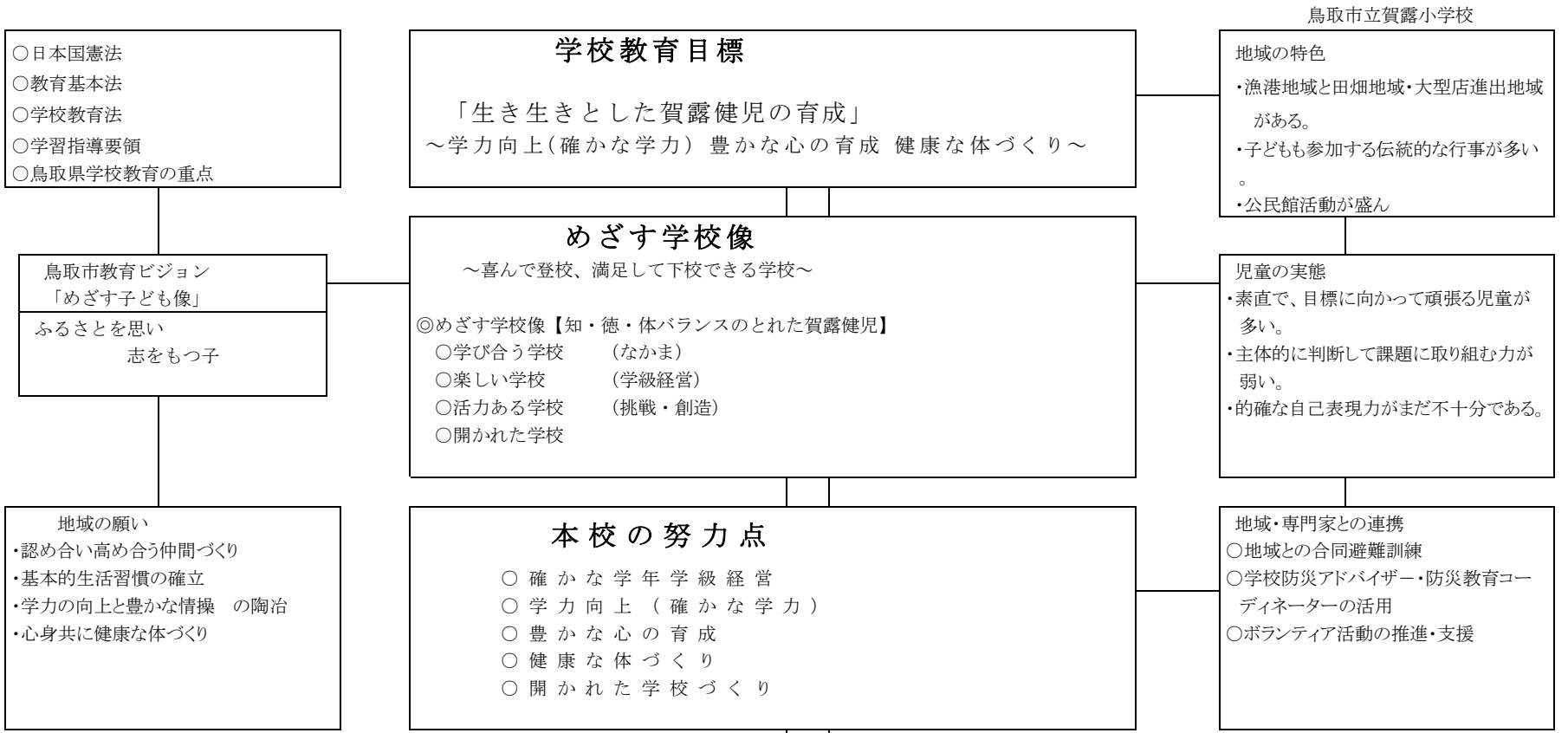


防災教育全体計画



防災教育の目標
①自ら危険を予測し、自らの命を守りぬくために主体的に行動できるようにする。＜判断力・行動力＞
②他の人々や集団、地域の安全に進んで役立つことができるようにする。＜貢献する態度＞
③災害発生メカニズムや地域の防災体制について理解し、活用できるようにする。＜知識の取得と活用＞

学年別指導目標		
低 学 年	中 学 年	高 学 年
<p>災害時における危険を知り、災害への備えとして非常持ち出し品や避難場所などについて知るとともに、災害時には、教員や保護者など近くの大人の指示に従い安全に避難できる。</p> <p>災害発生時や事後に、進んで手伝いをするなど家族の役に立つことができるようにする。</p> <p>地域の様子や発達段階に応じた災害や防災について理解できるようにする。</p>	<p>災害時における危険を認識し、災害への備えとして家庭や地域でとられている対策にも注目し、災害時には、教員や保護者など近くの大人の指示に従うとともに、自らも災害に応じた避難の仕方を身につけることができる。</p> <p>災害発生時や事後に、友達や近所の人、家族などの役に立つことができるようにする。</p> <p>地域の様子や発達段階に応じた災害や防災について理解できるようにする。</p>	<p>災害時における危険を認識し、日ごろから家庭における防災対策や地域の行事などへ積極的に関わり、状況に応じて自ら考え、安全な行動ができるようにするとともに、下級生をはじめ他の人々の安全にも気配りができる。</p> <p>災害発生時や事後に、初期消火を行ったり、大人へ通報したり緊急の場合には簡単な応急処置をしたりするなど、二次災害を防ぐ態度や行動をとり、進んで他の人々や地域の安全に役立つことができる。</p> <p>災害発生メカニズムと我が国の国土や県内(地域)の地形・気候などについて自然環境や防災についての基礎的・基本的事項を理解できるようにする。</p>

防災教育に関わる主な指導内容 (詳細は各学年年計参照)		
低学年	中学年	高学年
<p>(生) まちたんけん (体) 水遊び (学活) 火事がおきたら (学活) 地震がおこったら 避難訓練(火災・地震) 事前事後指導 (生) わたしのつうがくる (道) じしんがおきて (道) 水の広場</p>	<p>(学活) 安全な避難 避難訓練(火災) 避難訓練(地震) (学活) 安全な下校 (学活) 火災が起こったら (学活) 雨の日の過ごし方 (学活) 地震が起こったら (学活) 雪の日の過ごし方 (道) 神戸のふっこうは、ぼくらの手で</p>	<p>(体) 集団行動の仕方 (保健) 地域での安全 けがの手当て (理) 台風と気象情報 (社) 震災復興の願いを実現する政治 (理) 大地のつくりと変化 (学活) 危険の予測と安全な行動・奉仕活動しよう (学活) 津波の驚異 避難訓練(地震・津波) (道) 二十分間の出来事</p>

<p>防災管理体制の整備・充実 ◇学校防災計画の整備・学校防災委員会の設置・対策本部の設置(震度6弱以上) ◇地域と連携した学校防災計画・避難所運営計画の整備 ◇計画的な安全点検・避難経路や避難場所の点検</p>	<p>防災に関する組織活動の整備・充実 ◇教職員の防災教育研修の充実 ◇家庭・地域・関係機関との連携・協力体制の整備・充実 ◇学校・地域合同防災訓練の実施</p>
---	--